



医療法人 祥佑会 藤田胃腸科病院

## 藤田胃腸科病院たより

第2号

発行日：令和2年7月吉日

〒569-0086 大阪府高槻市松原町17-36

TEL：072-671-5916

(9:00~19:00 日・祝休診)

FAX：072-661-5188



### 暑中お見舞い申し上げます

理事長・院長 本郷仁志

高槻市医師会の先生方には平素より大変お世話になりありがとうございます。

本年は、医療界においてはじめてといえるコロナ禍、大変な時期をお過ごしかと思います。

2020年藤田胃腸科病院は創立50周年を迎えました。そのご報告を目的に1月からスタートした「病院たより」ですが、今回は第2号となります。

コロナの自粛期間中は、内視鏡検査も大幅な制限のなかで行ってききましたが、厳重な感染症対策を継続しながらも少しずつ以前に近い形で、予約・臨時検査・治療を施行しています。

今回は新設いたしました外来化学療法室のご紹介、便秘・IBD（潰瘍性大腸炎・クローン病）の専門外来、毎週水曜日の午後行っております健康♪外来（禁煙外来、睡眠時無呼吸外来）をご紹介します。

ご参考にしていただければ幸いです。



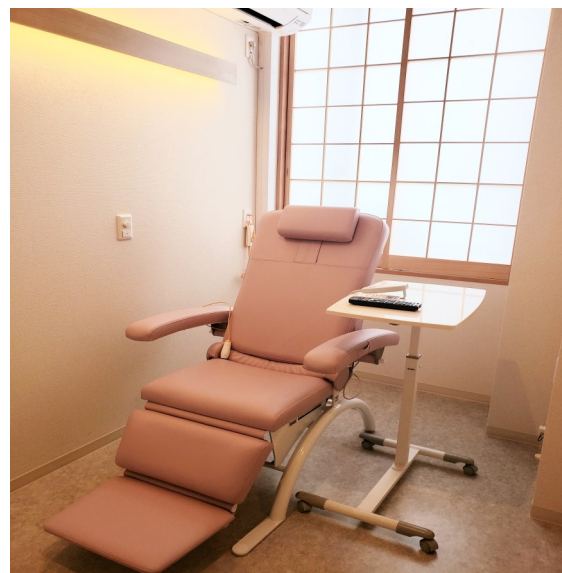
### 外来化学療法室を新設いたしました

がん化学療法における抗がん剤の点滴や炎症性腸疾患に対する生物学的製剤を使用する患者さんが、ゆったりとした空間で治療を受けていただける専用のお部屋です。

個室で電動リクライニングチェア、テレビを完備しております。

医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどがチームとなり、安全で質の高い医療、看護を提供いたします。

また、栄養士による栄養指導も行っております。お気軽にお声をかけてください。





## 専門外来のご紹介

当院では消化器疾患と合わせて、さまざまな合併症を引き起こす生活習慣病の早期発見、治療、予防にも力を入れています

### 【 便秘外来 】

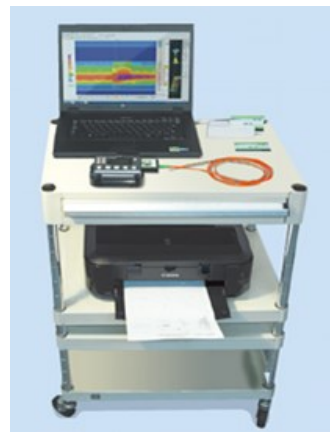
現在の内服薬だけではなかなか改善が見られない重症の慢性便秘症に対し、ガストロ注腸、排便造影検査、直腸・肛門内圧検査、大腸通過時間検査（ジッツマーク試験）などを用いて便秘のタイプを見極め、患者さんにあった適切な治療を行っています。

また、刺激性下剤に依存している難治性便秘の患者さんに対応するために、上記検査を含めた1週間入院プログラムを導入しました。

刺激性下剤を極力使用せず、小腸内で吸収のよい食事（低FODMAP食）を摂取し、運

動療法、バイオフィードバック療法\*（写真）等を組み合わせて、排便の改善に向けて総合的に取り組んでいます。

\*通常では自覚・制御が困難な排便反応をセンサーを用いて可視化しながら、排便訓練を行います。



診察日時：毎週月曜日・水曜日 午前9時～12時 担当医：本郷院長・大黒医師

### 【 IBD専門外来（潰瘍性大腸炎・クローン病の治療） 】

ここ1年で潰瘍性大腸炎311名の患者さんが当院に来られました。近年IBD（炎症性腸疾患）の分野では、患者数の増加とともに多数の新薬（特に生物学的製剤）が登場してきました。

世界的流行中の新型コロナウイルスに対して、IBD治療薬として汎用されているステロイド製剤が、重症化を引き起こす危険性があることが分かっています。

当院では、基本薬（5ASA製剤）が無効な患者さんに対して、以前からステロイドを回避した治療を心がけています。

GMA（血球成分除去療法）や新規治療薬を適宜使用して、速やかな寛解導入と長期寛解の維持に努めています。

対応に困られた患者さんがおられましたらお気軽にご相談ください。

診察日時：毎週月曜日・木曜日 午前9時～12時 担当医：本郷院長・木村副院長

### 【 健康♪外来（禁煙外来・睡眠時無呼吸外来） 】

禁煙外来では、1日喫煙本数×喫煙年数が200以上の方（35歳未満は条件なし）を対象に、12週間に5回通院していただき、チャンピックスを投与して禁煙をサポートします。加熱式タバコを使用されている方も対象になります。禁煙の成功率は約80%です。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)では、高血圧、脳卒中、糖尿病、うつ病、突然死などの発症リスクが高まります。終夜睡眠ポリグラフィック検査（PSG、一晚入院が必要）を受け、入眠中の各種パラメーターの記録から適応を判断して、持続気道陽圧（CPAP）療法を導入します。

診察日時：毎週水曜日 午後2時～5時 担当医：中嶋医師